

前田一步園財団——年表

1906:

前田正名（元農商務次官）は、阿寒湖畔の土地 3,900 ヘクタールを国から払い下げを受ける。阿寒前田一步園という名称の財団を設立、初代園主となる。一步園の「一步」は、「物ごと万事に一步が大切」という言葉に由来。「前田家の財産はすべて公共の財産となす」という家訓をもつ。

1921:

8月11日、前田正名死去。正名の次男、前田正次が二代目園主となる。阿寒の山と森を資源として伐採するのではなく、その美しさを愛でるものにしたいという父の願いを引き継ぎ、阿寒地域の振興に努めると同時に、森林管理規定と温泉事業の発展に取り組む。

1934:

12月4日、阿寒湖、摩周湖、屈斜路湖を含むおよそ9万ヘクタールが阿寒国立公園に指定される。